

笑顔のひろば

とりで障害者協働支援ネットワーク

第92号

1面：第75回定例会報告／第76回定例会開催案内 2面：権利条約の勉強会／夏休みこどもボランティア講座・チャレンジの広場報告 3面：災害用トイレトラック見学／障がい者のための防災訓練／取手市福祉まつり 4面：ネットワーク参加団体からのお知らせ（楽ちん介護・ホット・スペース）／お知らせ／連絡先／会員募集

第75回 定例会報告

7月8日（火）10時より第75回とりで障害者協働支援ネットワーク定例会を開催いたしました。今回もご参加いただきました障害福祉課鈴木課長と社会福祉協議会市毛局長より下記のご報告がありました。

鈴木課長からは、令和7年4月1日現在の各手帳保持者の人数についてやあいサポート運動について、地域移行（長期入院患者を地域へ移行する）の状況、7月26日に水害時避難訓練がグリーンスポーツセンターで行われること等についてお話がありました。

市毛局長より基幹相談支援センターの受付件数、つつじ園まつりやふじしろハーベストマーケットが今年度は土曜日開催となることについてのお話がありました。

情報交換の時間には、福祉サービスの事業所の運営がスタッフ不足や国の方針も厳しいことから難しくなっているとお話があり、結局困るのは障害のある方々になるので、良き対策がないものかと思いました。

そして、これまで不定期に行っていた勉強会を、今年度より7月の定例会で毎年行うこととしました。第1回は茨城に障害のある人の権利条例をつくる会の共同代表生井祐介氏を講師にお招きして、①茨城県障害者権利条例について②国連障害者権利条約について③つくば市での取り組みについてお話しいただきました。別頁にて内容の報告がありますので、ご覧ください。

次回定例会への皆さまのご参加をお待ちしています。

（美田 記）

第76回定例会開催のご案内

ネットワーク会員・市担当部・社会福祉協議会・市議会議員・民生委員・その他関係機関の皆様のご出席をお願いします。会員以外の障害者支援団体・個人の方もお気軽にご参加ください。定例会は、4月、7月、10月、1月に開催します。

- 日 時 2025年（令和7年）10月 14日（火）10:00～12:00
- 場 所 取手市議会棟大会議室
- 議 題 行政からの報告／ネットワークからの報告／情報交換 その他

＜権利条例の勉強会＞

2025年7月8日



今年度より7月定例会の議事を終えた後に勉強会を開催することにしました。その初開催となる今回は、施行から10年を経過した県の障害者権利条例について学ぶために”茨城に障害のある人の権利条例をつくる会”の共同代表である生井祐介氏をお招きし、講義していただきました。

県の障害者権利条例は全国でも9例目、障害者差別解消法の施行(2016年)前の2014年3月に制定できました。また差別の定義、紛争解決の仕組みや障害者差別相談室の設置などの特徴を説明いただき、県の障害者施策に大きな進展を促すものとなった意義を感じることができました。その一方で、国連障害者権利条約から見ると相変わらず日本では地域生活の支援（脱施設化）、分離教育の中止（インクルーシブ教育）等々の面で大きく遅れていると評価されていることも紹介され、まだ大きな課題が残っていることも指摘されました。またつくば市の取り組みについても紹介いただき、参考になる先行事例が多数紹介されました。県の権利条例について分かり易く説明いただいただけでなく、権利条約の観点からは大幅に遅れた日本の現状について改めて気づかせていただいた良い勉強会になりました。



（高山 写真・記）

夏休みこどもボランティア講座

8月24日（日）10時より開催の講座には、小学3年生から5年生までの6名の参加のもと、視覚、聴覚、肢体不自由のそれぞれの動画視聴のあと、アイマスク体験、手話、車椅子体験を行い、昼の休憩時間には取手図書館の協力のもと、読書支援機器の見学及び操作体験を行いました。午後はチャレンジのひろばの皆さんの協力のもとユニバーサルスポーツのボッチャと卓球バレー体験を行い、こどもたちにとって夏休みの貴重な体験になったと思います。

（阿部 写真・記）

【参加者感想】

- 目が見えないとこんなにもこわいなんてびっくりしました
- 障害者の方は大変だけどみんなの協力によってくらしは変えられるんだなと思った
- もし車いすの人を見つけたら、助けるってきめた
- 手話についてももっとしりたいと思いました



（障害を知る動画視聴）



（アイマスク体験）



（車椅子体験）



（読書支援機器体験）

《チャレンジの広場》

8月24日にチャレンジの広場を開催しました。今回は取手市のボランティア体験プログラム事業から7名の高校生、夏休みこどもボランティア講座から6名の小学生の皆さん、チャレンジの広場の参加者あわせて27名でした。内容はボッチャと卓球バレーを行いました。小学生と高校生の参加により、いつもより活気がありました。どちらの競技も未経験の方が多く、最初は戸惑いながらもプレーが進むにつれ歓声と笑顔が見られてこちらがエネルギーを沢山いただきました。チャレンジの広場を続けてきて良かったと思える充実した1日でした。



（勝山 写真・記）

災害派遣トイレトラックを導入

取手市では災害時に利用できるトイレトラックを導入しました。災害用トイレトラックの導入にあわせ、「一般社団法人助けあいジャパン」と「災害時におけるトイレトラック派遣協力に関する協定」を締結し、全国的な受援・応援の仕組みである災害派遣トイレネットワークプロジェクトに参画しました。災害派遣トイレネットワークプロジェクトとは、大規模災害時における全国的な受援、応援の仕組みで、全国の自治体が1台ずつ災害派遣トイレトラックを常備し、被災地にトイレトラックを派遣することでトイレ不足を解消することを目的としています。現在全国に36台が配備されていて有事の際は助けあいジャパンから派遣依頼が来て災害地に出動します。



(宮脇 写真・記)

障害者のための防災訓練

今年も障害者のための防災訓練を9月13日(土)の13時30分より、取手市福祉交流センターにて開催します。国土交通省より自然災害体験車が来て災害の恐ろしさを体験できます。また、福祉避難所についての講話も予定しています。この機会に災害に対する備えの意識を高めてください。

(宮脇 記)

第9回取手市福祉まつり～笑顔のひろば～

開催のご案内

日時：令和7年10月25日(土) 10:00～15:00(雨天決行)

会場：取手市福祉交流センター全館・駐車場・中庭・取手勤労青少年体育センター(議会棟裏)

特別講演 【CODAにマジシャンって何なのさ!?!】

～2つの世界にいる自分と社会への願い～

愛知県豊田市地域共働本部マジック講師

愛知県豊田市の公立小学校教員

小林 重雄 氏

今年も多くの方々が笑顔で心に残る有意義な一日を送れるようにと希望を持っています。

(武藤 記)



ネットワーク参加団体・会員からのお知らせ

《楽ちん介護》

2025年7月20日

快晴の猛暑の中、なんと11人もの参加者が集まりました。久しぶりの多人数の講習会です。この講習会を始めて20年くらいになりますが、当時は先生も20代で体力があったものの、最近は講習会の翌日は筋肉痛に悩まされています。明日の先生の仕事に差し支えなければいいんですが。そんな心配もありながら始まりました。内容はいつも通りに最初は立ち上がりの介助から徐々に機能が重い方向けの技術に進みます。今回は初参加の方が多く、指導の負担も大きくなり先生の筋肉痛がより不安に感じました。特に高齢化が進むと関節や腰痛などで無理な姿勢を取れず介助も困難になります。ある程度は楽ちん介護でそんな介助者の負担は軽減されますが、コツを習得するのは時間もかかります。最初は皆さん硬い表情でしたが先生のギャグ

にも慣れてきて、楽しく和気あいあいの中で進んでいきます。簡単には先生の指導通りには行かず困っていた方も、先生の手取り足取りの指導で、できるようになると歓声も上がります。それを見ていた他の方も見習ってできるようになるものです。大騒ぎの中、あっという間に終了時間になりました。1度の参加で習得できるものではありません。継続的に参加して、この便利な技術を身につけて家族の介護や職場での負担軽減に役立たせてもらいたいです。
(宮脇 写真・記)

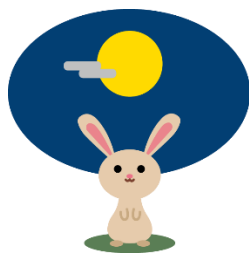


《ホット・スペース》

取手精神福祉家族会ホット・スペースでは、令和7年5月28日(水)14時から、福祉交流センターで、島本禎子氏を講師にお招きして、講演会「家族相談を受ける立場から～家族・当事者が笑顔になれるように～」を開催しました。講師は島本禎子氏で、みんなねっと相談員、NPO法人あおば福祉会理事長としてご活躍されておられます。講演内容は、講師ご自身の親としての体験(精神疾患について知識が皆無であった私)、全国からの電話相談を受けているなかで感じている事、世界と日本における精神医療の変遷など、多岐多様な講話内容でした。以下に、こころに残った事をご披露致します。

- ・社会全体が良くなって、障がいのある人たちが暮らしやすい様になるように一人一人が政治に関心を持ちましょう。
- ・精神障がいになったことは不幸かも知れないけど、最大の不幸ではない。
- ・本人と良い距離を保って伴走できる家族以外の支援者がいると良い。
- ・昔の過去の口惜しかったことを思い出して抜けない子ども。そんな時は、また言ってとは絶対言わないで下さい。先ず、聴いてあげて下さい。そして苦しかったね、と言って下さい。

今回の講演会は知見にあふれ、大変勇気を頂ける内容でした。今後も、取手精神福祉家族会ホット・スペースでは、精神疾患に関する理解を深める機会(講演会、研会、学習会)を適宜実施して参ります。
(藤巻 記)



とりで障害者協働支援ネットワーク会報
「笑顔のひろば」第92号

□発行：2025年(令和7年)9月 1日
□発行所：とりで障害者協働支援ネットワーク
□発行者：染野和成
□編集者：鈴木澄利 ネットワーク編集員
□連絡先：取手市本郷5-4-21
E-mail: toride.ssknet@gmail.com
HP: <http://ss192693.stars.ne.jp/index.htm>

《会員募集》

ネットワークの趣旨に賛同する皆様の参加、ご協力をお願いします。随時入会を受け入れておりますのでお申し出ください。
寄付金についてもよろしくお願いします。

○会費(年額)

- (1) 正会員 団体 1口 1,000円 1口以上
個人 1口 500円 1口以上
(2) 賛助会員(団体・個人)
1口 1,000円 1口以上

■会費・賛助会費・寄付金の振込先■

口座番号 常陽銀行 取手支店
普通 1887469
口座名義 障害者協働支援ネットワーク
代表 染野 和成